

武道・スポーツ科学研究所年報 第19号・2013年度・目次

はじめに

研究所長 田中 守

I. 平成25年度 (2013.4~2014.3) のプロジェクト研究

1. 日本の武道文化の成立基盤 —新陰流と一刀流剣術の研究を通じて— (22) 27

○魚住孝至 吉田鞆男 立木幸敏 大保木輝雄 朴 周鳳 仙土克博
中嶋哲也 長南信之 宮本光輝

1. 2013年度プロジェクト研究の概要……………魚住孝至
2. 新陰流の確立——柳生宗厳発給の伝書に即して……………魚住孝至
3. 新陰流の体系の根幹“転(マロバシ)”について……………吉田鞆男

2. 「武道健康論」研究 —健康生成論と伝統的身体論を手掛かりに— 1

—アクティブ・エイジング、ヘルシー・エイジングに期待される武道体験—

○石塚正一 小林啓三 阿久津洋巳 園部 豊

1. —アクティブ・エイジング、ヘルシー・エイジングに期待される武道体験—
……………石塚正一 小林啓三 阿久津洋巳 園部 豊

3. 武道の国際化と日本の対応 9

○柏崎克彦 魚住孝至 大矢 稔 岩切公則 松尾牧則

井下佳織 立木幸敏 矢崎利加 木村恭子

1. 「武道の国際化をめぐる諸問題」座談会……………柏崎克彦 魚住孝至
大矢 稔 岩切公則 松尾牧則 井下佳織 立木幸敏
矢崎利加 木村恭子

ゲスト・スピーカー：アレキサンダー・ベネット マーヤ・ソリドワール

II. 国際武道大学研究倫理規程 49

1. 研究倫理規程
2. 「ヒトを対象とする研究」倫理規則
3. 「動物を対象とする研究」倫理規則

III. 研究所を活用した活動 58

公益財団法人 日本武道館主催 第26回 国際武道文化セミナー

1. 開催要項・日程
2. 参加者名簿・参加者の傾向

○研究所情報 65

1. 2013年度客員研究員 研修成果報告書

「韓国大学男子テコンドー選手の無酸素性パワーと等速性下肢筋力に関する研究」

一組手選手と型選手の比較を通して—

金 芝美